

令和5年度静岡県立中央図書館

主要施策実績報告  
各班等重点取組評価書

## 令和5年度主要施策実績報告

※統計数値は原則として12月末現在です。

### (1) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実

- ・一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。
- ・地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。
- ・資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。

#### (実績)

- ・一般資料は、昨年度並の予算が確保できたため、専門書を中心に全分野を網羅的かつ積極的に収集した。
- ・地域資料は、新刊本や例年購入している県内古書店だけでなく、「日本の古本屋」のウェブサイトで県内外の新規古書店を開拓し購入するなど、資料収集に努めた。
- ・「県内自治体行政資料 PDF クローリングシステム」により収集した行政資料については、県や市町への許諾確認や公開方法に関する検討を進めた。
- ・市町立図書館からの購入リクエストは、218件受付、うち198件を購入した(1月12日現在)。

主担当：資料課（図書班）、調査課（地域調査班）

### (2) レファレンス・課題解決支援サービスの充実

- ・職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。
- ・レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。
- ・課題解決支援サービスのうち、特に「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。

#### (実績)

- ・県内図書館職員向けのレファレンス研修を、基礎3回、応用2回、集合形式で実施した。
- ・レファレンス出前研修を9館（うち2館は今後実施予定）で計10回実施した。
- ・総合教育センター主催の研修や講座で、講師を2回分担当した。
- ・県民向けのオンラインデータベース活用講座を健康医療情報に関する内容で行い、好評であった。
- ・職員のレファレンス技術の向上等に役立てるため、館内図書館システムに積極的にレファレンス事例を登録した。
- ・健康医療情報コーナーで、2か月ごとのテーマ展示を行い、関連資料の展示と資料リストの配布を行った。
- ・健康医療情報関連事業としてまちの保健室と出張図書館を実施し、関連資料の展示・貸出を行った。
- ・健康医療情報講演会を、口腔衛生に関する内容で2月に開催する予定である。

主担当：調査課（一般調査班）

### (3) 子どもの読書活動推進への寄与

- ・子どもの読書活動を推進するため、子ども図書研究室の有効活用を図るとともに、講座・研修会等の充実に取り組みます。
- ・新館での子ども図書館を見据えて、子ども図書研究室と子どもコーナー「どんぐりひろば」を連携させた運営の在り方を研究します。

#### (実績)

- ・児童資料の全点を収集し、『子ども図書研究室だより』（年2回刊行）、選定資料リスト（ホームページ掲載）等の情報提供をした。
- ・講演会は4年ぶりに、人数制限なしの集合形式で実施した（参加人数94人）。
- ・新刊サロン（年2回実施）は、対面形式での実施、動画配信も継続して実施し、いずれも好評であった（参加者：19人、再生回数：548回）。
- ・巡回展示は西部、中部の2か所で、当館職員による新刊紹介を8月に開催した。学校図書館の今年度の選書に生かせると好評であった。
- ・講師派遣は5回実施した。その他に幼稚園の初任者研修（公立・私立）、高校生や短大生に対する読み聞かせ入門、賀茂地区研修に講師を派遣した。
- ・子ども図書研究室の団体利用について人数制限を行わずに随時受付した（7団体69人）。
- ・時季を先取りした子ども図書研究室の展示と連携して、どんぐりひろばの展示を行った。
- ・どんぐりひろばに図書館サポーターによる季節の壁面装飾を行い、季節感や華やかさを添え、利用者にも好評であった。

主担当：資料課（図書班）

### (4) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進

- ・未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。
- ・地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し、それら資料の保存と利活用の促進に努めます。
- ・資料の修復や保存のための媒体変換に取り組みます。

#### (実績)

- ・デジタル化した貴重資料について損傷状況を調査し、長期的に修復を計画している。今年度は損傷の激しい葵文庫14タイトル21点・地域資料14タイトル14点の修理を行った。
- ・外部保管している資料については、自動除湿器により、常時適切な湿度管理を行うことによって、良好な保管状況を確保した。
- ・資料の保存と利活用のため、『駿河国雑誌』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』等の地域資料212件約3,680ショットについて、デジタル化、マイクロフィルム化を行った（3月完了見込み）。
- ・新館移転及び保存状況改善を目的として令和4年度に作成した貴重書資料保存計画に基づき、貴重書保存容器の作成及び地域貴重資料のドライクリーニング等を行った。
- ・近世史及び近代史を専門とする県内大学教員3人を招聘した貴重資料調査委員会の現物調査により、デジタル化の優先資料（全1,847点）を抽出し、デジタル化計画を作成した。
- ・地域に関するVHSビデオをDVDに変換するための「地域視聴覚資料媒体変換計画」を8月までに作成し、媒体変換を行った（外部委託676点、3月完了見込）。

主担当：調査課（一般調査班・地域調査班）

#### (5) 県史編さん収集資料の整理及び公開

- ・県史編さん収集資料のデジタル化による公開に向けた作業を進めます。

(実績)

- ・県史情報と県史収集資料目録を2件作成した。
- ・インターネット公開資料の許可を2点得たほか、131点の公開許可を申請中。

主担当：調査課（歴史文化情報センター）

#### (6) 県域全体への広報とサービス向上

- ・当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、図書館サービスを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。
- ・県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取サービス等を進めます。

(実績)

- ・県他部局や他機関と連携した展示・講演会等を積極的に広報・開催することにより、普段当館を利用しない県民に対しても当館に足を運ぶ契機となるよう努めた。
- ・当館 Web サイトや SNS を活用して、即時性のある情報を積極的に発信した。
- ・デジタルライブラリーに資料を追加して、来館しなくても活用できる当館資料を増やした。
- ・新刊サロンの動画を6本、貴重書や当館の歴史に関する動画を3本作成し、公式 YouTube チャンネルで Web 配信を行った。
- ・令和5年7月からインターネット予約による市町立図書館等受取サービスの受取館を18館から20館に増やした。
- ・電子図書館について利用促進を図るため、新しい電子書籍を定期的に追加したり、高等学校等の一括登録を推進したほか、県立学校における利用促進を目的に、教職員なら誰でも電子図書館を体験できる期間を設ける試みを行った。
- ・「県内自治体行政資料 PDF クローリングシステム」により収集した行政資料については、県や市町への許諾確認や公開方法に関する検討を進めた。

主担当：企画振興課（企画班）

#### (7) 特色ある展示・企画等の実施、葵レク（図書館講座）の充実

- ・県の各部局や外部団体と連携して特色ある展示を行います。
- ・団体・個人を問わず、図書館や活字文化に関わる方々と幅広い分野で協働します。

(実績)

- ・県他部局や他機関と連携して、草薙神社龍勢花火展（草薙神社龍勢保存会）等、多数の展示を実施した。
- ・外部講師を招聘して城址講座等、多数の講演会を開催した。2月には健康医療情報講演会を開催する。
- ・ムセイオン各機関と連携した「ふじのくに文化の丘フェスタ 2023」を開催し、各機関間の回遊を促進する目的でスタンプラリーを実施した。
- ・地元企業である(株)タミヤと協働して、ロボットプログラミング教室を開催した。
- ・県立清水南高等学校と協働して、当館初となる図書館コンサートを開催した。
- ・地元団体である（一社）草薙カルテッドと協働して、子ども向けタブレット操作講座を2月に開催する。
- ・県スポーツ・文化観光部主催のイベントで当館資料の貸出を実施した。2月には県立駿河総合高校生徒有志団体による開催イベント「静岡 SDGs 万博 2024（\*）」にて当館資料の貸出を実施する。

- ・東アジア文化都市 2023 静岡県のプログラムのひとつとして葵文庫の会と協働のうへ、貴重書講座スペシャルを開催し、貴重書等に関する動画 3 本を作成した。

\* 静岡県教育委員会高校教育課事業「ドリーム・プロジェクト」採用企画

主担当：企画振興課（企画班）

### (8) 県内図書館のさらなる活性化への寄与

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。
- ・市町立図書館等を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館等への情報提供の充実を図ります。
- ・県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。

(実績)

- ・県内図書館職員研修を集合形式で 9 件、オンライン（ライブ）で 2 件、動画視聴（オンデマンド）で 1 件実施した。遠隔地や旅費確保が困難な図書館でも受講できるよう、講義タイプの研修はオンラインで開催した。その一方で集合形式の研修では演習やグループワークなど、臨場ならではのメニューを充実させるように努め、更に研修内容を収録した動画を可能な限り公式 YouTube チャンネルで限定公開し、県内図書館職員全体の資質向上に努めた。受講者アンケートの結果、有益度 4.54、理解度 4.26（5 段階評価で基準は 3）と好評を博した。
- ・7 コース（各 7 回/年）の定期的な協力車事業のほか、地域館・分館に訪問し、情報提供を計画的に行っている。また、条例未設置図書館への訪問、11 月にはねむの木図書館からの要請により訪問し、運営相談や情報交換を行なった。2 月には松崎町立図書館の要請により訪問の上、運営相談、及び支援を行う予定である。
- ・図書館大会を 4 年ぶりにグランシップで開催し、1,001 人の参加があった。第 30 回の記念大会で、特別講演と 6 つの分科会、記念展示を行った。（大会は集合形式）

主担当：企画振興課（企画班・振興班）

### (9) 現有施設における最良のサービス展開

- ・施設・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。
- ・現有施設において、新館を見据えつつ、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。
- ・障害があるなど、利用が困難な方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。
- ・電子図書館サービスの充実を図るなど、図書館 D X を推進し、新館を見据えたより利便性の高いサービスの在り方を検討します。

(実績)

- ・月一度職員全員による施設の安全点検を行い、要改善箇所には速やかに対応していたが、子ども図書研究室書庫の照明器具の経年劣化による焼損があった。休館日だったため、利用者に直接的な影響はなかったが、復旧するまでの間、書庫への立入りができない期間が生じた。
- ・スロープを設置できない階段の手前に掲示を増やし、ベビーカー・車椅子等の利用者がよりサービスを受けやすいようにした。施設が物理的にユニバーサル対応になっていないのが課題である。
- ・電子図書館について利用促進を図るため、新しい電子書籍を定期的に追加したり、高等学校等の一括登録を推進したほか、県立学校における利用促進を目的に、教職員なら誰でも電子図書館を体験できる期間を設ける試みを行っ

た。

- ・「県内自治体行政資料 PDF クローリングシステム」により収集した行政資料については、県や市町への許諾確認や公開方法に関する検討を進めた。

主担当：総務課（総務班）

### (10) 職員の資質向上

- ・県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、「県立中央図書館司書育成指針」に基づき、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。
- ・館内委員会や担当職員を中心に、図書館サービスの研究開発に取り組みます。

(実績)

- ・「館内職員研修実施要領」を制定し、館内職員研修を充実させた。
- ・著作権実務講習会、障害者サービス講座等、職員の資質向上につながる外部研修に 22 研修・延 40 人が参加した。
- ・新館への情報収集を行なうため図書館総合展、関東地区公共図書館協議会研究発表大会等に積極的に参加した。
- ・実務研修として鳥取県立図書館と山梨県立図書館にそれぞれ職員 1 人・1 か月派遣した。
- ・県外視察報告や上記研修の伝達講習を館内職員研修で実施した。
- ・レファレンス出前研修を 9 館（うち 2 館は今後実施予定）で計 10 回、子ども図書研究室講師派遣 5 回、新刊サロン（集合及び Web）2 回、図書館基礎研修、レファレンス基礎研修、レファレンス応用研修、オンラインデータベース活用講座等で職員が講師を務めた。
- ・健康医療情報サービス委員会、図書館 DX 委員会、ティーンズサービス検討部会、多文化サービス検討部会といった館内委員会で、図書館サービスの研究開発に取り組んだ。

主担当：企画振興課（企画班）

### (11) 新県立中央図書館整備への対応

- ・新図書館整備課等と連携して、新県立中央図書館づくりに積極的に取り組みます。
- ・新県立中央図書館へのロードマップ（行程表）に基づき、計画的に新館への移行準備を進めます。

(実績)

- ・新館整備に向けて新図書館整備課と連携した情報共有のための研修を 3 回実施した。（職員全員参加）
- ・新館整備に向けて新図書館整備課及び設計業務委託受注者と連携したワークショップを 4 回実施した。（職員全員参加）
- ・新図書館整備課と当館職員による新館整備に関するワーキングを定期的に実施した。
- ・職員全員がそれぞれ分担して、新館で実施するサービスの準備を進めた。
- ・新館整備に向けて情報収集を行なうため図書館総合展、関東地区公共図書館協議会研究発表大会等に積極的に参加した。
- ・新館整備に資するため、県外先進図書館 5 館の視察を実施した（2 月以降に 4 館視察予定）。また、鳥取県立図書館と山梨県立図書館に実務研修としてそれぞれ職員 1 人・1 か月派遣した。なお、視察情報は職員全員で共有した。

主担当：企画振興課（企画班）

令和5年度各班等重点取組調書 (総務) 課 (総務) 班	
令和5年度主要施策	(9) 現有施設における最良のサービス展開
事業体系の位置付け	(イ) a 資料の利用促進 一 閲覧室内の良好な読書環境の維持
重点取組名	<b>利用者が安心して安全に利用できる環境整備</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築から54年経過した施設であるため、老朽化による不備が著しく配管類の故障や不具合が頻繁に発生している。新館整備計画案が具体的に、抜本的な改修工事は望めないが、その都度必要な修繕を執行していく。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月一度全職員で行う安全チェックリストを活用し、危険箇所施設、設備等の不具合にはできるだけ速やかに対応する。</li> <li>・ 安全チェックリストに対する対応情報は、掲示板等で職員間で情報共有する。</li> <li>・ 雨漏り等、直接利用者に係わる情報については、揭示物等で情報提供する。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者、職員の安全安心な環境の提供。</li> <li>・ 施設・設備の不具合による事故の件数0件。</li> </ul>
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書 総務課 総務班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月一度職員全員による施設の安全点検を行い、改善箇所には速やかに対応したが、子ども図書研究室書庫の照明器具の経年劣化による焼損があった。休館日だったため、利用者に直接的な影響はなかったが、復旧するまでの間、書庫への立入りができない期間が生じた。</li> <li>・ 閲覧室等照明器具は毎日点検し不点灯は取替え、雨漏りの際は、資料の保護のため、速やかな資料の移動と該当箇所の簡易修繕を行った。</li> </ul> <p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記事故は、業者による法定定期点検や職員による安全点検でも指摘はなかったが、照明器具の経年劣化が原因である。図書館全体の施設・設備が老朽化しているため、月一度の安全点検だけでなく、より敏感に異常を察知し、速やかに対応することを徹底する。</li> <li>・ 今後も、老朽化による施設の不具合が出ることは予想される。既定予算の範囲内で対応できることは速やかに行い、既定予算でできないことは、教育委員会関係課と情報共有し、利用者・職員の安全を最優先に対応する。</li> <li>・ 雨漏りや危険箇所等を職員間で情報共有し対応するとともに、直接利用者に係わる情報については、揭示物等で情報提供する。</li> </ul> <p>(御意見等)</p>
外部評価	A・B・C・D
外部評価	A・B・C・D

令和5年度各班等重点取組調書 (企画振興) 課 (企画) 班	
令和5年度主要施策	(10)職員の資質向上
事業体系の位置付け	(イ)サービスの充実
重点取組名	<b>館内職員研修の体系化及び運用</b>
現状・課題	当館職員に対する従来の館内職員研修(全体会終了後に実施)は体系化されておらず、その内容も職員の資質を向上させるために系統立てたものとはなっていない。
取組の目的・内容・方向性・計画等	司書育成指針推進委員会と協働して館内職員研修を体系化したうえで、令和5年度中に運用を開始する。体系化にあたっては、新館での図書館サービスの向上に繋げることも視野に入れて、当館職員の資質向上を目指す。
達成目標 (期待される効果)	研修の体系化及び研修内容の具体化を図ったうえで、従来は原則1回/月であった研修回数を倍増させて実施する。
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書 企画振興課 企画班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上を図るため、司書育成指針推進委員会と協働して「館内職員研修実施要領」を制定し、研修を系統立てるとともに具体的な研修内容を定めた。</li> <li>・当該要領は令和6年4月1日施行となるが、今年度から同要領の主旨に沿った研修の実施をすすめてきた。具体的には研修回数が増及び研修時間の大幅増を達成するとともに、「多文化共生」など新館における新たな図書館サービスの展開を視野に入れた内容の研修を実施した。</li> </ul>
外部評価	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該要領に則った研修の実施をすすめていく。</li> <li>・特に、新館における各種サービスについて全職員が習熟できるよう、当館各班等が行っている実務に関する研修を充実させていく。</li> </ul> (御意見等)
	Ⓐ・B・C・D
	A・B・C・D

令和5年度各班等重点取組調書 (企画振興) 課 (振興) 班	
令和5年度主要施策	(8) 県内図書館のさらなる活性化への寄与
事業体系の位置付け	(ウ) 市町立図書館への支援
重点取組名	<b>静岡県図書館大会 第30回記念大会の開催</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年の図書館大会は第30回の節目を迎えており、記念大会として開催できるよう数年前から準備を進めている。</li> <li>・昨年度の図書館大会参加者アンケートの回収率が低い(30%)ため、正しい分析と評価を出すことが難しい。</li> <li>・図書館大会基金の運用を最終年度とし、適正に執行する必要がある。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館大会の運営を円滑に進め、記念大会にふさわしい内容で開催する。</li> <li>・参加者アンケートの回収率を高める方策を実行する。</li> <li>・運営委員と連携を深め、運営しやすい環境を作る。前年度アンケートでの困りごと、提案内容の見直しをする。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者アンケートの回収率 40%以上</li> <li>・参加者アンケートの満足度 90%以上</li> </ul>
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書 企画振興課 振興班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年ぶりに参加人数に制限がなく、どの分科会も集合形式となる大会を開催することができた。参加人数は1,001人。</li> <li>・アンケート回収率は34%となった。目標を下回ったものの、大会終了後に参加者へのメール送信や大会webサイト、SNSで回答を呼びかけるなどの取組を行った結果、昨年度より上回ることでできた。(令和4年度30%)</li> <li>・満足度は92%となり目標を達成した。(令和4年度91%)</li> <li>・第30回記念として、会場のグランシップ中ホール入り口、2階ホワイエのスペースにて展示を行った。展示は20年以上前の図書館や当時の読書の様子がうかがえる写真を中心にいい、見てくださる方も多く、好評であった。</li> </ul> <p>A・B・C・D</p>
外部評価	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい分析と評価を得るためにも、アンケート回収のための働きかけを工夫する。</li> <li>・今後も充実した内容で開催できるよう、県図書館協会と連携して進めていく。</li> </ul> <p>(御意見等)</p> <p>A・B・C・D</p>

令和5年度各班等重点取組調書 (資料) 課 (図書) 班	
令和5年度主要施策	(11) 新県立図書館整備への対応
事業体系の位置付け	(オ) 資料の利用促進
重点取組名	<b>新図書館に向けた児童資料の整備</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度までに児童資料の予算では、全点収集分の購入のみで児童選書で選定した資料については購入ができている。</li> <li>子どもコーナー「どんぐりひろば」の書架が少なく新しい資料を配架することができない。</li> <li>令和5年度は、新館に向けて児童資料の充実のため予算獲得できたので、これまで購入できていない選定資料、利用の多い資料の複本や汚破損資料の買い換えを行い、どんぐりひろばの資料充実を図る。</li> <li>また、新館での本格的に児童サービスを行うための資料の購入、予算の執行を計画的に進める。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<p>どんぐりひろばの資料の更新及び資料の充実を図ることにより、利用者に対して新しい資料を提供することができ、利用を促進することができ(特に小学生の読み物を充実させることにより新たな利用者の獲得を図る)。</p>
備考	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんぐりひろばの書架増設</li> <li>新館で提供する資料の保管場所の確保</li> </ul>

令和5年度各班等重点取組評価書 資料課 図書班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで購入できていなかった選定図書(＊)に加えて、新館用の児童資料について保管場所を確保したうえで計画的に購入した(4,232冊受入済(1月19日現在))。</li> <li>選定図書の一部で、子どもコーナー「どんぐりひろば」の貸出回数が多い資料や汚破損資料の買換を行い、資料の充実を図った。</li> <li>「どんぐりひろば」に書架を増設し、配架冊数を増やし、「どんぐりひろば」の充実を図った。</li> <li>＊選定図書とは、全点購入している資料から、当館で良書であると選定し、貸出用の資料を購入すると決定した資料をいう。</li> </ul> <p>Ⓐ・B・C・D</p>
外部評価	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度以降は、引き続き新館の児童室に配架する資料の分類のバランスをみながら計画的に購入を進めるとともに、必要に応じて随時選書基準の見直しを行う。</li> <li>児童選書を効率的に行うため、班全員で資料を確認し、しつかり目を通すものと軽く中を確認するものに付けてから、分担して資料を読むよう選書方法を変更した。今後も運用しながらより効果的な選書方法を検討する。</li> </ul> <p>(御意見等)</p> <p>A・B・C・D</p>

令和5年度各班等重点取組調書																	
令和5年度主要施策	(資料) 課 (新聞雑誌) 班																
事業体系の位置付け	(11)新県立中央図書館整備への対応																
重点取組名	(オ)新館整備の検討 <b>新館整備に向けた所蔵資料データ公開体制の構築</b>																
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新館移転までのICタグ貼付業務の事前作業として紙台帳管理の雑誌(平成6年2月以前)のデータ化をR3年度から着手</li> <li>現計画では、R4～5年度の2年間で4冊×38人分を入力予定であったが、転出者等で作業が完了できないケースあり</li> </ul> <p>(R5年3月28日現在進捗状況) 39冊 / 159冊</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>終了</th> <th>確認中</th> <th>各自配布</th> <th>未着手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39冊</td> <td>7冊</td> <td>29冊</td> <td>84冊</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>R5当初予算では外部委託費は未計上</li> <li>未入力120冊分の作業は今後も全館体制で作業を継続する必要あり(外部委託で全て対応は困難)</li> <li>作業スケジュールの見直し</li> <li>作業内容見直し(マニュアル改善等)による職員の負担軽減</li> <li>R6当初予算における外部委託予算の確保</li> </ul> <p>(最終目標) 令和8年上半までに作業終了 (今年度目標) 1人1冊終了</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40冊</td> <td>40冊</td> <td>40冊</td> <td>120冊</td> </tr> </tbody> </table>	終了	確認中	各自配布	未着手	39冊	7冊	29冊	84冊	R5	R6	R7	計	40冊	40冊	40冊	120冊
終了	確認中	各自配布	未着手														
39冊	7冊	29冊	84冊														
R5	R6	R7	計														
40冊	40冊	40冊	120冊														
取組の目的・内容・方向性・計画等																	
達成目標 (期待される効果)																	
備考																	

令和5年度各班等重点取組評価書	
資料課 新聞雑誌班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業マニュアルの改善(必須入力項目の明確化)によりよりデータ入力作業の省力化を図ったが、今後、新館関係業務で更に職員の多忙化が懸念されることから、当該業務に係る職員の負担を解消するため、改めてICタグ貼付業務の外部委託に当該作業を含める方向で現在調整中である。</li> </ul> <p>評価不能</p> <p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌の現物の形態及び状態を確認しながらICタグの貼付対象(原則として公開書庫で保管する資料)を判断し、委託業務の対象資料数を精査する。</li> <li>既入力済データ及び当館作業マニュアルは受託業者に提供する(仕様書に定める)。</li> </ul>
外部評価	(御意見等)
評価不要	

令和5年度各班等重点取組調査書	
令和5年度主要施策	(調査) 課 (一般調査) 班
事業体系の位置付け	(2) レファレンス・課題解決支援サービスの充実
重点取組名	(ウ) b 職員研修 (エ) 関係機関・団体との連携・協力 <b>県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス研修・課題解決支援サービスの充実</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内図書館職員を対象に基礎・応用・出前研修を、静岡県視覚障害者情報センターと連携して音訳点訳講座を、県民を対象にオンラインDDB講座を実施している。</li> <li>・ 研修や講座の実施に当たっては、組織及び職員としての研修担当能力の維持・向上に努めながら、受講者の置かれている状況や課題、ニーズ等を把握した上で、内容等を更新していくことが求められる。</li> <li>・ 県立図書館が課題解決支援に役立つ機関であることが県民に知られていない。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 県内図書館職員向け研修の充実 昨年度までの参加者アンケートの結果等を踏まえ、研修内容の充実を図る。出前研修については当館で用意した研修メニューを基本としつつ、依頼館の要望にもできるだけ対応する。</p> <p>(2) 教職員向け研修の実施 総合教育センターが主催する研修で、情報収集や著作権等に関する講義の講師を担当する。</p> <p>(3) 組織及び職員の研修担当能力の維持・向上 組織としては、一定の水準で継続的に研修を担当できるよう努める。職員としては、積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。</p>
達成目標 (期待される効果)	<p>(1) 県内図書館職員等のレファレンス技術の向上 (研修受講者アンケートの理解度及び有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 図書館の課題解決支援の認知度の向上 (目標レファレンス件数5,000件 令和4年度4,710件)</p>
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レファレンス研修を基礎3回、応用2回、集合形式で実施し、大雨により実施できなかった基礎1回については、動画視聴や出前研修を案内した。アンケート結果は、有益度が平均で5段階中4.6以上、理解度が平均4.3以上で、好評であった。</li> <li>・ レファレンス等出前研修を11月～2月に9館(うち2館は今後実施)で計10回実施し、アンケートの結果も良かった。</li> <li>・ 総合教育センター主催の研修や講座で、「データベースを利用した情報収集について」及び「教育活動・学校図書館と著作権」の講師を担当した。</li> <li>・ レファレンス件数は、12月末現在で4,018件であり、昨年度に比べ358件増加している。</li> <li>・ 職員のレファレンス技術の向上や類似事例への調査時間の短縮、回答のばらつき防止等に役立てられた。研修に一定以上の時間がかかった質問などを館内図書館システムに積極的に登録した。</li> <li>・ 県民向けのオンラインデータベース活用講座を健康医療情報に関する内容で行い、好評であった。 (今後の方向性・分析等)</li> </ul>
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内図書館職員向け研修では、基本的なプログラムは継承しつつ、アンケートを参考に研修の流れや内容等を更新し、充実を図る。集合形式の研修では、演習を充実させるなど、集合するメリットを生かすよう努める。</li> <li>・ 学校図書館支援を目的として総合教育センターが主催する教職員対象の研修は、県立図書館と学校をつなげる貴重な機会の1つでもあるので、今後もあるだけに対応する。</li> <li>・ 上記の研修を実施するためには職員の資質の向上が必須である。積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。 (御意見等)</li> </ul>
備考	<p>(A) ・ B ・ C ・ D</p> <p>A ・ B ・ C ・ D</p>

令和5年度各班等重点取組調査書 (調査) 課 (一般調査班・健康医療情報サービス委員会)	
令和5年度主要施策	(2)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
事業体系の位置付け	(4)サービスの充実
重点取組名	<b>県民に向けた医療健康情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実</b>
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決支援の拡充を目的に健康医療情報コーナーの充実を図っている。</li> <li>講師を招いての「健康医療情報講演会」の開催。</li> <li>「がん情報ギフト」の市町図書館への提供。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康医療に関するレファレンス業務を充実させるための調査課との連携。</li> <li>課題解決支援のために静岡県立中央図書館が健康医療情報の充実を図っている機関であることが県民に知られていない。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 継続的な情報提供 「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」の資料の充実と、利用者の課題解決支援につながる配架や展示を中心に情報提供を継続的に行う。</p> <p>(2) 県民への支援事業の実施 県民への幅広い支援を目的に「出張図書館」「まちの保健室」「健康医療情報講演会」「がん情報ギフトの提供」を実施する。</p> <p>(3) 情報発信の強化 オンラインデータベースの利用促進やSNSを使用しての情報発信を継続的に行う。</p> <p>(1) 県民への支援事業の充実 (アンケートの満足度・有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 健康医療関係資料の利用促進 (特集展示資料の平均貸出回数20回以上 令和4年度15回)</p>
達成目標 (期待される効果)	
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書	
調査課 一般調査班・健康医療情報サービス委員会 (目標に対する実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県看護協会の健康相談会「まちの保健室」と、県立大学で行われた生涯健康サイエンスフェスへの出張図書館を実施し、関係資料の展示・貸出を行った。</li> <li>健康医療情報講演会を、口腔衛生に関する内容で2月に開催する予定である(アンケート実施予定)。</li> <li>健康医療情報コーナー及びがん情報コーナーでの資料・情報提供を継続的に行ったほか、特集展示として健康医療情報コーナーで2か月ごとのテーマを展開を実施し、関連資料の展示と資料リストの配布を行った。特集展示資料の平均貸出回数は30回以上だった。</li> </ul>
自己評価	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちの保健室や出張図書館など、医療関係機関等と連携したイベントを通し、当館の健康医療情報資料を基にした支援に繋げていく。また、医療機関や他県等が行っている健康医療情報関連の取組についての情報を収集し、県民の課題解決のための支援を行う。情報発信の方法についても同様に収集し、新たな手段を検討する。</li> <li>健康医療情報コーナー及びがん情報コーナーについては、継続して資料・情報提供を行う。また、活用状況を検証し、配架資料や配置について検討する。</li> <li>オンラインデータベースの利用促進について、他県等が行っている事例等の情報を収集し、新たな手段を検討する。</li> </ul>
外部評価	(御意見等)
	A・B・C・D

令和5年度各班等重点取組調査書	
令和5年度主要施策	(調査) 課 (地域調査) 班 実
事業体系の位置付け	(1) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実 (4) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進 (7) a 図書資料等の充実－地域資料の収集、整備 (4) a 資料の利用促進 －貴重図書資料のデジタル化等による利用促進 (7) a 市町立図書館運営の支援・協力 －地域資料・雑誌の書誌情報提供
重点取組名	<b>地域資料の収集・保存・提供</b>
現状・課題	(1) 新館移転に向けて、地域貴重資料のデジタル化等について検討する必要がある。 (2) 劣化の進む視聴覚資料のうち、地域に関する資料の媒体変換を計画的に進める必要がある。 (3) 地域資料の受入が遅れており、県民サービスに支障が生じている。また、受入遅れにより地域資料書誌の提供についても遅延しているため、市町立図書館から進捗を確認される例も生じている。
取組の目的・内容・方向性・計画等	(1) 有識者による委員会を開催し、地域貴重資料のデジタル化等について調査検討を行う。 (2) 地域に関する視聴覚資料の媒体変換計画を策定する。 (3) 当館受付後3か月以内に提供できるよう、取り置き資料の書誌作成を集中して進める。
達成目標 (期待される効果)	(1) 地域貴重資料のデジタル化計画の策定。 (2) 地域に関する視聴覚資料の媒体変換計画を策定し、令和6年度以降の予算要求資料とする。 (3) 地域資料書誌提供の正常化。
備考	

令和5年度各班等重点取組調査書	
自己評価	調査課 地域調査班 (目標に対する実績)
Ⓐ・B・C・D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世史及び近代史を専門とする県内大学教員3人を招聘し、貴重資料調査委員会を立ち上げた。計3回の現物調査により、デジタル化の最優先資料(県史編纂レベル:205点)及び次に優先すべき資料(市史編纂レベル:1,642点)を抽出し、デジタル化計画を作成した。</li> <li>・地域に関する視聴覚資料(VHSビデオ)をDVDに変換するための「地域視聴覚資料媒体変換計画」を8月までに作成し、年度内に媒体変換を完了する(外部委託、676点)。</li> <li>・寄贈については、概ね3か月以内に提供できるような資料の受入を進めた。12月末時点での地域資料の受入点数は、令和4年度に比べ2.6倍となっている。(R4:1,696冊、R5:4,483冊)</li> </ul>
外部評価	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の貴重資料調査委員会で順位が高いとされた資料を優先して、計画的にデジタル化を進める。</li> <li>・媒体変換したDVDを館外貸出するためには販売者や制作者等から個別に許諾を得る必要がある。現状では館外貸出ができないため、権利者から許諾を得る作業や、許諾が得られるまでの利用方針を作成する必要はある。</li> </ul> (御意見等)
A・B・C・D	

令和5年度各班等重点取組調書 (調査) 課 (歴史文化情報センター)	
令和5年度主要施策	県史編さん収集資料の整理及び公開
事業体系の位置付け	資料の利用促進 - 県史編さん収集資料の公開、情報発信
重点取組名	<b>県史編さん収集資料の公開・広報・普及</b>
現 状 ・ 課 題	現状 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県史編さん収集資料(写真資料)の公開準備</li> <li>・ 近代資料の整理</li> <li>・ 管理システム(データベース)への登録課題</li> <li>・ 資料所蔵者情報の確認が困難である。</li> <li>・ 目録作成や「資料紹介」に利用する資料の解読など、資料の広報に多くの時間を要する。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	方向性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真資料や文書資料の公開により利用者からの問い合わせが増加しており、主に自然災害誌に掲載した写真資料と布達(明治初期の行政命令)の公開申請を行う。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の公開により資料の閲覧・利用が増加する。</li> <li>・ センター内公開及びインターネット公開資料50点、資料の利用件数75件。</li> </ul>
備 考	令和4年度公開資料 126点 令和4年度資料利用件数 178件 移転作業のため令和5年11月から休館

令和5年度各班等重点取組評価書 調査課 歴史文化情報センター	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月末現在のセンター内及びインターネット公開資料は2点であるが、現在申請中で回答待ちが131点ある。</li> <li>・ 資料の利用件数は143件であった。目標の75件を達成した。</li> </ul> (今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布達資料は順調に公開できているため、目録作成と公開申請の業務を継続する。</li> <li>・ 自然災害史や考古・古代史の収集資料で、システム登録できていない『静岡県史』の情報に登録する。</li> <li>・ 寄贈資料または当センター保管資料を利用した情報発信(授業の種や歴史散歩など)を進める。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響で来室者は減っていたが、少しずつではあるが、回復傾向にある。他の研究者や学生が来館するようになってきた。</li> <li>・ 利用者から「インターネットで閲覧できる資料を増やしてほしい」という要望があるため、可能な範囲で公開資料を増やす。</li> <li>・ 県史編さん時に登録できていない(確認して確認する必要がある)ので、継続して確認する(御意見等)</li> </ul>
外部評価	A・B・C・D A・B・C・D

令和5年度各班等重点取組調書 (調査) 課 (歴史文化情報センター)	
令和5年度主要施策	
事業体系の位置付け	
重点取組名	<b>本館への引越し業務</b>
現状・課題	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県史編さん事業関係の書類や資料を整理する</li> <li>・ 中世資料のみ、配置の順番が異なる → 資料を探しにくく、利用者を待たせる</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年5月アナウンス開始</li> <li>・ 令和5年11月1日より休館</li> <li>・ 令和6年1月引越 (本館へ移転)</li> <li>・ 開館形態を検討する</li> <li>・ 資料のわかりやすい配置を検討する → 日付順から家番号順へ変更 → システム上でも変更</li> <li>・ 開架図書及び閉架図書の整理確認を行い、本館との重複書籍を確認する</li> <li>・ 県史編さん資料の整理確認をする</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本館移転のために資料や書籍を確認・整理することとスムーズな引越し業務を行うことができる</li> <li>・ 資料群を整理することで、誰でも出納できる資料群になり、利用者を待たせなくなる。</li> </ul>
備考	

令和5年度各班等重点取組評価書 調査課 歴史文化情報センター	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画どおり移転を完了した。</li> <li>・ 県史編さん事業関係の書類や資料を整理した。</li> <li>・ 中世の資料を並び替える等わかりやすい配架となるよう、4月の再開に向けて作業を進めている。</li> <li>・ 土日の資料閲覧を可能にする等、本館移転後のサービス向上を実現した。</li> </ul> <p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休館中におけるトラブルは現在のところなし。</li> <li>・ 書籍の確認を終了したので、令和6年度、本館のデータベースに再登録 (新規登録) する。</li> </ul> <p>(御意見等)</p>
外部評価	
	A・B・C・D
	A・B・C・D

【参考】静岡県立中央図書館に関する数値指標

※数値はいずれも12月末現在

項目	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	備考	担当課
<b>【本館】</b>						
開館日数	日	241	242	242		資料
入館者数	人	123,280	118,784	119,504		資料
新規登録者数	人	1,687	2,781	4,159		資料
貸出人数	人	18,091	17,097	16,329		資料
うち遠隔地貸出人数	人	2,235	2,318	2,293		企振
個人貸出数	点	97,149	79,470	83,532		資料
うち遠隔地貸出数	点	8,466	8,157	8,271		企振
協力貸出数	点	5,103	4,914	4,472		資料
レファレンス数	件	4,567	3,660	4,018		調査
うち静岡県関係	件	1,304	992	1,041		調査
うち図書館から	件	122	42	51		調査
電子書籍数（合計）	点	643	1,333	2,135		企振
ふじのくにアーカイブ公開 資料数（合計）	件			21,342		調査
オンラインDB利用数	回	1,374	1,147	1,313	ログイン数	調査
公立図書館職員研修受講者数	人	395	516	537		企振
	回	861	217	859	研修動画再生回数	企振
ウェブサイトアクセス数	千件	10,995	11,467	19,655		企振
アンケート満足度	%	79.7%	87.9%	88.4%	項目平均	企振
<b>【歴史文化情報センター】</b>					11月1日から移転の ため休館	
入室者数	人	114	139	111		歴文
資料利用件数	件	127	137	143	複写及び資料出納の 申請者を件数で計算	歴文
資料掲載等許可件数	件	31	24	34	資料掲載申請者を件 数で計算	歴文
レファレンス件数	件	114	114	66		歴文